

「諏訪地区教科用図書採択研究協議会並びに諏訪地区教科用図書調査研究会合同会議」議事録

日時：令和5年7月31日（月）午後1時30分～3時10分

場所：諏訪教育会館 大会議室

1. 開会（岡谷市教育委員会 教育担当参事）

ただいまより、諏訪地区教科用図書採択研究協議会並びに諏訪地区教科用図書調査研究会合同会議を開催させていただきます。

初めに諏訪地区教科用図書採択研究協議会の会長であります。岡谷市宮坂教育長よりご挨拶いただきます。

2. 諏訪地区教科用図書採択研究協議会長あいさつ（岡谷市教育委員会 宮坂教育長）

本日はお忙しいところお集まりいただき、感謝申し上げます。

本日は令和6年度から使用する小学校用教科書について採択を行います。

小学校の教科書は調査研究会から報告された資料に基づき議論をさせていただき、委員の総意によって選定させていただきます。

そのため、本日は調査研究会の各教科の正副研究員長にも出席していただきました。

調査研究員の先生方には1学期の校務の多忙の中、少数精鋭で定められた期間で慎重かつ熱心に調査研究を重ねていただき報告書を作成していただきました。

選定にかかわるこの研究は、本格的な教科書研究そして教科指導の研究の場であり、研究に携わった経験により培った力量を今後の教科指導に繋げていただけることと確信しております。

特に、正副研究員長の先生方には、調査研究の方向づけやとりまとめ等、大事な役割を果たしていただき感謝申し上げます。

子どもたちが、どんな教科書で、どんな学習をし、楽しく学習できて意欲的に学ぶことができるのが子どもたちにとって極めて重要です。

いずれの教科書もそれぞれによくできておりますので、甲・乙つけがたい難しさもあろうかと思いますが、協議会員のみなさまには学習の主体者である子どもたちの立場に立って議論をしていただき、適切な教科書を選定していただけるように願い申し上げて挨拶いたします。どうぞよろしく願いいたします。

3. 諏訪地区小中学校校長会副会長あいさつ（富士見小学校、植松校長）

本日は万障差し繰って本会議に出席していただきまして誠にありがとうございます。

本日まで各調査研究員の先生方には各教科書を観点に即して、十分に吟味検討していただきました。

諏訪校長会として教科の専門性が高く、また研修に意欲的である先生方がさらに教科の専門性を伸ばしていただいたことをうれしく思うとともに、またとない貴重な研修の場と捉えていただいたことに感謝申し上げます。

また、研修を通して学習指導要領と令和の日本型学校教育に照らして、教科書の内容を見つめていただきました。

令和9年には次期学習指導要領が出される予定です。

そこにどのように繋がるのかといった連続性の観点も見えてきたかと存じます。

ぜひ、今後の校内研修や、諏訪教育会等の校外研修、郡の教育研究会等において研修されたことを還元していただければ幸いです。

先生方、誠にありがとうございました。
そして市町村教育委員会の皆様、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局：協議会の規約第6条第1項により、この会議は委員の過半数活各市町村1名以上の出席により成立すると規定されています。
本日委員13名に出席いただきかつ、各市町村1名以上の出席がありますので定足数に達したことを確認いたしました。
これより議事に入ります。
規約同条第1項の規定により会長が議長を務めることになっておりますので、以降は宮坂会長に議事の進行をお願いしてまいります。

4. 議事（議長：宮坂協議会長）

(1) 令和6年度以降使用諏訪地区教科用図書採択の調査について

ア 事務局から教科書展示会の結果について

議長：はじめに、本日の会議ですが、全体で2時間程度を予定しております。
また、本日の議事録につきましては、規約第13条に基づき、後日公開となることをあらかじめご承知おきください。
ア「教科書展示会の結果について」事務局の説明を求めます。

事務局：資料の4ページをご覧ください。教科書展示会は、南信教育事務所により、記載の期間、諏訪教育博物館で開催しました。
来場者は115人で、アンケートは過去の教科書と比べてみての感想や発行会社での違いについての記載等がありました。
選定に関わるような意見の記載はありませんでした。説明は以上です。

議長：ただいまの説明に対し、質疑はございますか。（なし）

イ 調査研究員会から教科用図書の調査報告及び選定について

議長：次の教科用図書の調査報告及び選定については、各調査研究委員会報告をいただき、質疑、意見交換を行います。
なお、各教科が概ね10分ぐらいで、選定を進めたいと思います。
説明と意見交換につきましては、要点をまとめて簡潔に発言してください。
研究結果を報告いただく際には、研究委員会としてどの教科書が最も適切と判断したのか。
根拠となる具体的な所見とともに、5分以内で説明をお願いいたします。
質疑や意見を述べる場合は、事務局職員がマイクをお持ちしますので、挙手をお願いいたします。
なお、本日は事情により、先に生活科から報告していただき、そのあと国語以下につきまして教科の順に進めさせていただきます。
それでは生活科からよろしくお願いいたします。

生活科
研究員長 : 別紙1で3社についてご説明します。
26信教。総合所見の中で特徴的なのは、子どもの具体的な活動や体験を通して身近な人や社会や自然との関わり及び自分自身について振り返り、気付きの質を深めながら、生活者として求められる知識・技能・態度などを培い、自立への基礎が着実に養えるよう学習内容の展開と示し方に配慮がされています。
また、長野県ならではの地域素材や身近で豊かな自然環境や日常的な事象を取り上げて単元構成がされており、地域に根ざした体験活動が多様に展開できるよう配慮されています。
また、問いが児童の側から生まれるような配慮があり、自ら課題意識を持って学習できるように工夫されている等が特徴だと考えます。
次に東京書籍です。これは何かな、もっと楽しくできそう。一緒にやってみようという短い言葉とともに児童のやってみたい気持ちを喚起する、質の高い写真が多く掲載されています。
また、身近な人や社会や自然、身の回りの部分すべてを学習対象として、児童がそれらに関わりながら、具体的な活動や体験を通して、小さな気づきや疑問を追求していけるように、配慮されていると考えます。
またスタートカリキュラムを中心に編成されており、ICT機器の活用場面を具体化する例も示されて、気付きを確かなものにしたたり、関連付けたりする表現活動や交流活動が挿絵や写真等で具体的に分かるように工夫されていると考えます。
もう一つですが光村図書の教科書です。
写真やイラストがとても多くて、児童が学習の見通しをもったり、活動への願いをもったりするきっかけになるよう工夫されています。
また、絵本作家のヨシタケシンスケさんがイラストを担当し、「こんなこともあるかもね」というヨシタケさんならではのコーナーがあって、児童の学習の気付きに繋がるようなやりとりが開かれております。
どの活動も同じ構成で作られており、児童が学習のイメージを持ちながら学べるように工夫されています。
また、巻末には取り外せる資料がありまして、子どもたちが詳しく調べる手助けになっています。
直接教科書に書き込みができるような材質等の工夫も見られます。以上です。

議長 : その結果、調査研究員会では何の教科書を最も適切と考えましたでしょうか。

生活科
研究員長 : 調査研究員会では、26信教の教科書が最も適切と認められると判断いたしました。

議長 : ありがとうございます。
まず、説明に対して質疑がありましたらお願いいたします。(なし)
次にご意見がありましたらお願いいたします。(なし)
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断し、生活科につきましては、最終決定をしたいと思えます。
生活科は、信教を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で信教を選定することに決定いたしました。ありがとうございます。

それでは続きまして、国語科お願いいたします。

国語科 : 16ページにお戻りください。

研究員長

国語は光村図書、東京書籍、教育出版3社について調査研究いたしました。日頃の教科書で実践してみたわけですが、来年度自分が使うとしたらという視点で一から読み直していただきました。

その結果ですが、光村図書が教科書として適当であるという結論を出しました。16ページですが、光村図書は子どもたちのこれから学習をスタートするという構成が貫かれております。

目標に沿った付きたい力が付くだけでなく、学びに向かう力を養いながら学習が進められるように工夫されていると感じました。

目次では領域別に色別で示されていたり、生活に役立てることができる内容は大切というまとめがあったりして、学習者を立ち止まらせる効果があると感じました。

このように全体を通して思考力、判断力の育成、表現力の育成が重視されている構成であることがありました。

また、学習展開は通り一遍ではなく、見通しを持つ段階から振り返りまで、学年のねらいが明確に位置付けられ、多様な学習が保障されていることが感じられました。

本来の筋から外れるわけですが、親から子へと語り継ぐことができる文学的な文章や説明的な文章が教材として継承されていることも魅力ではないかと考えました。

具体的所見の2番ですが、現行学習指導要領に沿った内容構成に配慮して、教科等横断的な教材が選定されており、児童が興味関心を持てる教材や、長年親しまれてきた教材が取り上げられています。

また学年相互の系統的な指導が行えるよう、単元や題材が配布されていると感じました。

17ページお進みください。

東京書籍ですが、他学年との系統性、或いは振り返りを大切にするといった編集は光村図書と同じような感じを受けましたけれども、児童の問いから学習がスタートするという点で問題ないことを感じました。

続いて、教育出版ですが、言語活動を広げ、言語感覚を見直すということに、とても力を入れている教科書である、言葉を大切にしている編集だなということを考えました。

しかし、やはり光村図書の編集方針と比べると物足りないかなということを感じた次第です。以上です。

議長 : ありがとうございます。

まず、今の説明に対して質疑がありましたらお願いいたします。(なし)

次にご意見がありましたらお願いいたします。(なし)

意見が集約されたと判断し国語につきまして、最終決定をしたいと思っております。

国語の教科書についてですが、光村図書を選定いたしますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で光村図書を選定することに決定いたしました。

続きまして書写をお願いいたします。

書写科 研究員長 : 続いて18ページをお願いいたします。

書写についても国語と同じ3社について調査研究を行いました。私たちの印象ですが本当に書写の教科書がどんどん変わっているなど感じるようになりました。

なお、書写の教科書についても光村図書が適当であると考えました。光村図書ですが、何を学ぶのか、何ができるようになるのかということが明確に位置付けられ、子どもたちが綺麗な字を書きたいという意欲を喚起できる構成になっていると感じました。そして教材名ですが、つけたい力がそのまま教材名になっている特色があったかと思えます。

考えよう、確かめよう、活かそうという学習手順が示されていて、児童の学習の見通しを持つとともに、主体的に取り組むことが可能になっていると考えました。

あと2点ですが、一つは学んだことをすぐ硬筆に活かせるという点で、同じページに硬筆の学習の欄が設定されておりました。それからつけたい力を徹底するために大切という欄が設けられていまして、学習のポイントが視覚的に理解できるようになっておりました。

具体的所見の1番ですが、入門期の1年生・3年生に向けてスタートブックというものを用意されて、基礎基本を網羅しながら、期待と主体性が育ち楽しさが味わえる構成になっておりました。

続いて19ページお願いします。

東京書籍ですが、姿勢、文字の形、配列等に関しては、同じく見た目から学べるように配慮されていると感じました。

また、左利きの児童を意識したユニバーサルデザインの編集もありました。光村図書の方が学ぶ児童の目から見てわかりやすいのではないかと考えてみました。

続いて教育出版ですが文字の形、特に組み立ての学習は硬筆を意識して練習する。そういう編集があるなどということを感じました。しかし、光村図書の方が子どもたちにとってわかりやすくポイントがまとめられていると結論づけました。以上でございます。

議長 : ありがとうございます。

今の説明に対して質疑がありましたらお願いいたします。(なし)

次にご意見がありましたらお願いいたします。(なし)

意見が集約されましたと判断し国語の書写につきましては、最終決定をしたいと思います。

国語の書写につきましては光村図書を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)

ありがとうございます。

全会一致で光村図書を選定することに決定いたしました。

次に、社会の教科書の方からお願いいたします。

社会科
研究員長

：社会科調査研究会では東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社の教科書を研究させていただきました。

まず22ページ、東京書籍です。

東京書籍の総合的な所見としましては、各単元で子どもたちが問題解決的な学習を進められるよう概要的な教科書であるという印象が強くなりました。

単元を貫く学習問題が明確であり、それが最後までしっかりと通っているという印象がありました。

特徴的なことですが調べ学習の段階において、それぞれ順番がたとえ入れ替わっても繋がるように並立的に書かれている特徴がありました。

それから資料等ですが情報が多すぎることがなく精選されているという印象を持ちました。

全体的に子どもたちにとって問題解決的な社会科の学習を楽しく味わえるような学び方を学ぶ教科書の編集になっていると感じました。

続きまして23ページですが、教育出版の教科書です。

全体的な印象として、これからの未来を子供たちがどう作っていくかということをお大切に教科書だと感じました。

特徴としまして、障がいのある児童や外国籍児童が登場します。それからSDGsに結びつけるといった現代社会への状況を踏まえた配慮がなされているところがあります。

ただ、それが活かしきれてないかなという印象を私たちは持ちました。

それから1時間ごとの単元の繋がりがやや単線的でありまして、必ずその時間の最後に次に繋がる課題が書かれているわけですが、その教科書の流れを通っていますが、子どもたちの流れがそういかなかった時、どうなるかっていうところが少し課題と感じました。

続きまして、次のページですが日本文教出版の教科書です。

子どもたちの身近な問題から問題を提起し問題解決的な学習の展開で構成されていました。

ページ数や情報量が他社と比べてとても多く、資料的な要素もたくさん入った教科書であると感じられました。

様々な社会事象の特色や相互の関係や意味を多角的にとらえる力がとても付くと思われませんが、やや指導時数的な配慮が不足しているということ。

それから多くの単元で最終的なまとめが話し合い活動とSDGsにどう繋がるかということで、ほぼ統一されています。それがまとめのバラエティーが少ないのではないかっていう点。それからSDGsに無理やり繋げている単元が幾つかあるというようなこともありました。

例えば、小学校6年生の縄文時代のまとめとしては、今の社会と縄文時代のところをSDGsに関連付けるっていうこともあるわけですが、興味が湧くと思いますが、果たして、社会科の単元学習がそれでいいのかなっていうところの疑問が残りました。

そのような3社を比べてみまして、調査研究会としましては、東京書籍の教科書が子どもたちに学び方を学ぶ問題学習の進め方を学ぶという点では良いのではないかという結論になりました。

よろしくお願いします。

- 議長 : ありがとうございます。
まず説明につきまして、質疑がありましたらお願いいたします。
お願いいたします。
- 協議会委員 : これは社会科の調査研究会への質問かわからないですが、あえて質問したいです。
社会科では適当と認める紹介をして別紙で3枚あります。
先ほどの国語でいきますと、別紙1、別紙2で分かれており、研究会として課題が別紙2にまとめられていますが、様式の使い分けはどのようにしているか教えてもらいたい。
- 議長 : 事務局お願いいたします。
事務局 : 今回、適当と認められるものを3社以上、別紙1でご報告いただくようお願いしておりますので、社会科のような記載をお願いしているところです。
- 社会科
研究員長 : 社会科からは今回3社からの選択でしたので、一応それ以外の教科書がありませんでしたので、3社全てを別紙1の形で報告させていただきました。
よろしく申し上げます。
- 議長 : 協議会委員さん。よろしいでしょうか。
- 協議会委員 : 了解しました。そうすると先ほどの国語は3社ですので、本来は別紙1で3社報告頂かないといけないということでもよろしいでしょうか。
- 議長 : 事務局お願いいたします。
事務局 : おっしゃる通りです。よろしく申し上げます。
- 議長 : ありがとうございます。他、質疑ございますか。(なし)
次にご意見がありましたらお願いいたします。
- 協議会委員 : 6年生の政治国際編の部分がどんなふうにかかれているかという部分を中心に見させていただいたのですが、研究員の先生が所見のところでは書かれているように、そこからスタートして調べる、まとめる、活かすという流れをすごく意識した教科書だなということがやはりわかります。
それともう一つここには書かれてないですけども、広めるっていうページがあります。
ここで韓国レポートがあり、サウジアラビアの宗教的なことを展開しています。
新しい展開を進めるためのページもすごく大事に私としては考えたいと思っています。
そして、所見のところでは触れられないですけどもSDGsについても他社との書き方の比較です。東書も触れていて、その項目がSDGsのどこに繋がっていくのかっていうことを、無理やりではなくて、ちゃんと意識した、いい繋がりになっているというふうに思いますので、私も東京書籍の教科書が一番いいのでは

ないかと思いました。以上です。

議長 : ありがとうございます。
他にご意見ございますでしょうか。(なし)
それでは意見が集約されたと判断し社会の教科書につきましては、最終決定をしたいと思います。
社会科の教科書につきましては、東京書籍を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)
ありがとうございます。
全会一致で東京書籍を選定することに決定いたしました。
続きまして地図の方をお願いいたします。

地図科研究員長 : それでは地図帳のページに参ります。
27ページになります。東京書籍と帝国書院の地図帳を調査研究させていただきました。
まず東京書籍ですが、一番の特徴は情報量がとても多いということが、東京書籍の地図帳の特徴かなと判断しました。
小学校段階だけではなく、小学校卒業してからも十分耐え得る地図の情報量の多さがありました。
ただ、その反面見た目の煩雑さが気になりました。情報量が詰まっているので、なかなかパッと見た時に分かりづらいこと。細かい情報が多すぎるのかなっていうこと。それから、土地利用の特徴が陰影を薄くしたという工夫があったのですが、そのために土地利用が少しわかりづらくなっているという点がありました。情報量の多さはとても魅力的ですが、それがやや使いにくさに繋がっているかなという点がありました。
続きまして、帝国書院の地図帳です。帝国書院の地図帳の一番の特徴としては小学校3年生から今の指導要領の地図帳が使われるようになったわけですが、その3年生への導入が非常に丁寧に行われている。
どのように地図ができているかっていう場面が大分ページを割いて作られています。
それから、主要地図に入る前に、日本の地図の概略の地図が最初にあります。これもとても親しみやすくイラストが多くて、初めて地図帳に出会う3年生にとってはとても見やすいのではないかと、そんな意見が出ました。
ただ、先ほど東書と比べると、やはり情報量は大分絞られています。
なので、細かいところまで見るとなると情報量が少ないところがあります。
私はいつもカバンの中に地図帳を忍ばせて調べるようにしていますが、この1ヶ月の間は、2冊をずっと入れさせていただきました。何かあった時にパッと調べた時に帝国書院が調べやすいなと何度も思いました。それは私の感想であります。
帝国書院は情報量としては東書より少ないわけですが、小学生段階の地図としては十分な情報量があり、子どもたちが親しみやすい地図である。
それから、装丁ですがやわらかいソフト仕上げになっていて4年間使うことを配慮されていて、ぼろぼろになりにくい素材になっているなというところも特徴かと思えます。

以上の理由で、調査研究委員会としては、帝国書院の地図帳が今回良いのではないかという結論になりました。よろしく申し上げます。

議長 : ありがとうございます。
今の説明に対して質疑がありましたらお願いいたします。(なし)
よろしいでしょうか。
次にご意見がありましたらお願いいたします。(なし)
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断し社会科の地図につきまして、最終決定をしたいと思えます。
社会科の地図につきましては帝国書院を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で帝国書院を選定することに決定いたしました。
続きまして、算数お願いいたします。

算数科研究員長 : 算数の調査研究員会では、東書、大日本、啓林館、学図、教出、日文の6社の教科書を検討させていただきました。
その中で、適当と思われる教科用図書として、3社を選ばせていただきました。
31ページ、32ページ、33ページをご覧ください。
まず31ページ東書です。
東書では、問題解決型の授業を想定した展開を基本として考えられております。
さらに協働的な学びによる練り上げの過程で、自分の考えと他者の考えを比較検討することによって、自分の考えをより最適なものに変容させるような展開で組まれています。
そんなところが総合的に東書の教科書として良いところではないかと考えております。
次に大日本図書です。
大日本図書では、単元の導入のコーナーが設けられております。
児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるような構成になっております。
問題解決の流れを具体的に教科書で示してあり、思考力、判断力、表現力等を育むことができるように、思考表現のツールとなるようなテープ図、数直線図の指導の充実が図られております。
問題提示の工夫や数学的な見方、考え方を働かせる場の設定など工夫されているということが教科書の中で見られました。
次に啓林館です。
啓林館では、身の回りのことや既習事項を取り上げて、児童が興味関心を持って新しい学習へと入っていけるように構成されております。
児童が働かせる数学的な見方、考え方を紙面上に可視化するとともに、課題の発見や課題解決の過程を具体的に示してあります。
数学的な考え方を働かせて考える場面設定が工夫されていると思えます。
また、児童が主体的に、算数を正確に学習に活かすとともに、基礎的、基本的な知識及び技能を確実に取得できるように配慮されていると思えます。
特に啓林館では、系統性を重視していると考えます。

例えば5年生の面積を求める単元では三角形を最初に考えております。
三角形を、まず特別な形、直角三角形の求積から始まって三角形の求積をまずやることで、面積は三角形に帰着すれば求められるという形の系統性を大事にして、そのような方法を取っているのではないかと考えております。
そのような特徴から、調査研究員会では、啓林館の系統性を重視している部分で、啓林館の教科書が良いのではないかと考えました。以上でございます。

議 長 : ありがとうございます。
説明につきまして、質疑がありましたらお願いいたします。(なし)
次に、ご意見がございましたらお願いいたします。

協議会委員 : 今のお話を聞いていて、確かに身の回りの生活から入るっていう部分が非常に多いことや、面積に関しては三角形からやっているという部分で系統的に学べるということで賛成であります。
見させていただくと、4年生には分度器が付いて、5年生では円周測定マシーンがあって、私たちが苦勞したことが全員できること。
それから、次の学年に上がるときに練習問題で復習でき、答えがしっかりと付いているということ。
馴染んできている教科書であります子ども達の側に立った学習ができると考えるため、啓林館に賛成させていただきます。

議 長 : ありがとうございます。
他にご意見ございましたらお願いいたします。(なし)
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断いたしまして算数科につきましては、最終決定をしたいと思えます。
算数科は啓林館を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)
ありがとうございます。
全会一致で啓林館を選定することに決定いたしました。
次に理科の方、説明をお願いいたします。

理 科 研 究 員 長 : 37ページからになります。よろしく申し上げます。
理科調査研究員会では6社の中から教科用図書として適当と認められるのは、東京書籍、信州教育出版社、啓林館の3社でした。
東京書籍、啓林館は問題解決の過程が学びの内で示されており、問題を科学的に解決できる工夫があります。
また、この2社は各観察実験方法の欄には二次元コードが添付され、動画や図解によって確認できるようになっております。大変すばらしい教科書だと考えました。
しかし、ここ諏訪の理科を考えると信州教育出版社が一番適当だと考えました。それは、県内の身近な素材を活用し自然の事物現象への理解を図る工夫があるからです。
例として、小6の地層の学習です。自分たちの地面の下を予想する学習では、東京書籍、啓林館では、火山灰の地層は学習しません。

しかし、信州教育出版社では原村の火山灰の地層が載っており、諏訪のあちこちで見られる火山灰の地層を学習できるようになっています。

もう一つ例として、諏訪の気候と生物教材です。

小5の花の作りの学習では信州教育出版社ではズッキーニ、東京書籍、啓林館ではヘチマを扱っています。

諏訪の気候ではヘチマを育てていても、1学期では観察できず、どうしても夏休み中に花が咲いてしまい、観察ができません。

しかし、信州教育出版社のズッキーニでは1学期中に観察実験ができる利点があります。

今のは例であります、そのようなことがたくさん散りばめられております。信州教育出版社が一番適当であると考えました。以上です。

議長：ありがとうございました。
説明に対しまして、質疑がありましたらお願いいたします。（なし）
次にご意見がありましたらお願いいたします。（なし）
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断し理科について最終決定をしたいと思えます。
理科は信州教育出版社を選定いたしますが、よろしいでしょうか。（異議なし）
ありがとうございます。
全会一致で。
信州教育出版社を選定することに決定いたしました。
次に音楽科について説明をお願いいたします。

音楽科研究員長：教育芸術社、教育出版社の2社を調査させていただきました。
2社の教科書のうち、音楽科の調査研究会としましては、今回教育芸術社の小学生の音楽を推薦させていただきたいと思えます。教育芸術社の教科書について説明させていただきます。
まず、総合的な所見としまして、4つの領域分野の歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞で構成されている題材が主体的・対話的に音楽表現を楽しみ、音や音楽への興味関心を高めながら学習し、音や音楽と豊かに関わる資質能力を育成できるように、段階的に配置されているということ。
各題材においては、見つける、考える、歌う、演奏する等の学習活動と何を学ぶか、何ができるようになるかが明記され、児童が課題や手順を共有し表現を工夫したり聞き深めたり、見通しを持って学習できるようになっているということ。
教材ごとのねらいが設定され、音楽を形づくっている要素をとらえ表現や鑑賞の活動ができるようになっていて、協働的な学びの中で主体的に活動できるような教材配列になっていること。
どの学年も日本の伝統行事との繋がりから日本の伝統音楽に触れる題材を配置していて、生活や社会との関わり等についての資料を入れたり、道徳教育、人権教育に対する配慮、世界の様々な音楽を取り上げたりするなど、ユニバーサルデザインを意識した編集がされているということが挙げられます。
少し具体的にお話させていただきます。
1番教科の目標からの配慮についてですが、全学年を通して低中高学年ごとの系統的な題材構成で継続的に学習が積み重ねられるようになっていると思えます。

また、音楽を形づくっている要素をとらえたり、それを活かしたりして、音楽的な見方、考え方を働かせながら、表現鑑賞の活動を進めていけるような題材の配置になっているなど思うところです。

音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自分の生活をつなげられるように、学習内容や学習活動が児童の発達段階に適切に配慮されていることを感じました。

2番、児童の学習活動への配慮です。

(4) 音楽科の大事な四つの領域ですけれども、豊かな音楽活動を楽しみながら楽曲のよさを感じることができる工夫については、各領域の視点で教材を見てみました。すると歌唱では、合唱の技能を育てるための系統性が見られ、学年を追うごとに内容を伸ばしています。歌声ルームという形で取り上げ身体や息の使い方など、機能面でのアドバイスもしていった大変効果的です。

器楽でも発達段階に合わせ、無理なくステップアップできる構成になっていて、鍵盤ハーモニカやリコーダー等の基本の楽器の持ち方や演奏方法がとてもわかりやすく示されています。

運指などの基本練習の後には、やってみたいという児童の意欲が高まる楽曲が掲載されている点が良いと思います。

音楽づくりでは、同じく発達段階を考慮して無理のないステップが踏まれています。

「さあ、好きな音を使って自由に考えてみよう。」ということではなく、音を選択する方法でも音楽づくりが多く取り入れられ、工夫のポイントや手順がわかりやすいので、見通しを持って音楽を作ることができ、みんなができたと思えることに繋がりやすいと思います。

また少人数でのアンサンブル形式が多く取り入れられている点も、友との関わり、協働的な学びに繋がることだと考えます。

鑑賞では、音楽を形づくっている要素に結びつけて聴けるよう、教科書に注目するポイントや考えるポイントが示してあり観点を絞って聞けるよう工夫がされています。

聞き取ったり、感じ取ったりしたことをもとに考え、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、図形楽譜や譜例や挿絵を用いる説明等が充実しています。

このように、楽曲のよさを感じ取る工夫が各領域にわたって設定されていて、児童の関心を持ちながら、楽曲のよさを感じ取ることができるのではないかなというふうに感じました。

3、学習指導への配慮ですけれども、どのように学習を進めたり考えたりしたら良いか、様々なマークやキャラクターの吹き出しがヒントになり、手順や工夫の方法がわかりやすくなっていて、主体的・対話的に学習が進められるよう配慮がされていると思います。

また、これまでに引き続き、その楽曲の音楽を形づくっている要素が見開きに統一して掲載されていることも、児童の学習を進めていく手がかりとなっています。

(4) 日本の伝統音楽が、手遊び歌、わらべうた、伝統芸能や祭りまで幅広くしっかり扱われているなどと思います。

二次元コードを読み込むと、掲載されていない地域の楽曲などを調べることがで

き、個人差に応じた指導にも繋がりやすくなっていると感じます。
以上から、教育芸術社の小学生の音楽を推薦したいという意見にまとめました。

別紙2に記載してしまったのですが、もう一つの教育出版音楽の贈り物ですが、こちらの教科書も学びナビというコーナーで、どのように学ぶかを具体的に示しており、児童も教師も学習や指導の見通しを大変立てやすい構成となっています。

音楽を形づくっている要素は音楽の元として、注目すべき要素が明記されているため、何を学ばよいかわかりやすく、また、音やリズム遊びを中心として、低学年での音楽づくりの活動が大変充実しています。

身体活動も多く取り入れられているなどのいい点がたくさんあります。

新しい楽曲や、最近の作曲家の楽曲もあり、指導内容も多彩で大変魅力的ですが、系統的かつ段階的な教材配列にもなっているのですけれども共通教材では、もう少し子どもに見つけさせたい子どもの言葉で引き出したい、考えさせたいと思う内容が、学びナビのコーナーで既に教科書に示されているところが気になりました。

また、限られた指導時数の中で扱うには情報量も多く、難易度も高いので、深い学びには繋がりにくいかなと感じます。

さらに情景をイメージするような写真を多く使われて迫力があり、良いなと思うのですが、歌詞から想像する情景と結びつきにくい写真や挿絵も複数見られました。

折り込みページのため、扱い方によっては破れやすいかなと心配するところではあります。

以上のところから、子どもたちの学習を進めていくには教育芸術社の小学生の音楽の方が大変良いだろうというふうに意見がまとめられましたので、調査研究員会として推薦させていただきます。以上です。

議長 : ありがとうございます。

説明に対して質疑がありましたらお願いいたします。(なし)

次にご意見がございましたらお願いいたします。(なし)

意見が集約されたと判断いたしまして音楽科について最終決定をしたいと思えます。

音楽科は教育芸術社を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)

ありがとうございます。

全会一致で教育芸術社を選定することに決定いたしました。

続きまして、図画工作をお願いいたします。

図画工作科研究員長 : 図画工作科では、日本文教出版と開隆堂出版2社について研究を行いました。
はじめに、56ページ。

日本文教出版についてお願いいたします。

こちらの教科書ですが、学習のめあてを3観点5項目で明確に、児童に分かりやすい言葉で示しています。合わせて図画工作科で大切にしている表現と鑑賞を関連させた学習についても配慮されています。

また資料の中に、発想を広げたり、思考を整理したりするヒント、或いは構成を考える視点振り返りのポイント等がわかりやすく示されており、児童にとっても

授業者にとっても学習の見通しが持ちやすい教科書であることが大きな特徴であると言えます。

また相当数の授業取材に裏打ちされていることが大きな特徴で授業の学ぶ瞬間を捉えた写真、或いは工夫の読み取りやすい作品等が多く掲載され、児童のやってみたいという思いを引き出すとともに、試行錯誤しながら、表現を進める子どもの姿に繋がるのではないかなと推測します。

また、幼保から卒業までの発達段階の配慮、或いは他教科、生活、社会との繋がり、そんな視点が盛り込まれています。あわせて、図画工作を通して自然を愛する気持ち、資源を大切にしようとする思い、地域や伝統文化を大切にする態度などのことにも重きを置かれている特徴もありました。

続いて57ページ、開隆堂所見です。

こちらですが、学習のめあてが題材ごとにわかりやすく示されています。

それを実践するための表現・鑑賞の内容や、活動方法、指導等が親切に使いやすく整理されております。

また、いきいきと活動する子どもの笑顔の写真を多用していることが大きな特徴といえます。

そのことで、子ども達にやってみたいことを自分で発見し、表現活動は楽しい。自分で考えたり決めたりしながら学習する。

そんな姿に繋がるのではないかなと推測しました。

また、確かな学力を育むために重点的に育成を図りたい資質能力について、3色のキャラクターを使って表し、そのキャラクターがわかりやすく子ども達を造形活性へと導いています。

或いは表現したいという子どもの気持ちにこたえるための参考作品や資料も充実しています。

また、地域と連携した活動SDGsに関わる内容やインクルーシブな教育なども、図工を通して行えるよう配慮されているのが特徴と考えました。

それぞれの教科書に良さや特徴があるわけですが、日本文教出版の多様な児童や経験の浅い授業者にとっても学習の見通しを持ちやすいという点。或いは、多くの取材に裏づけされた細やかな題材構成。或いは紙面作りが子ども達の確かな学力を育むそんなことを考え、日本文教出版が適当ではないかと推薦させていただきます。以上です。

議長 : ありがとうございます。
説明に対しまして質疑がございましたら、お願いいたします。(なし)
次にご意見がございましたらお願いいたします。(なし)
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断いたしまして、図画工作科について、最終決定をしたいと思えます。
図画工作科は、日本文教出版を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で日本文教出版を選定することに決定いたしました。
続きまして、家庭科お願いいたします。

家庭科 : 家庭科は東京書籍と開隆堂の2社について研究をして参りました。

研究員長

その結果ですけれども、家庭科の調査研究会としては、東京書籍の教科書を選ばせていただきました。

まず、東京書籍ですけれども、総合所見です。

すべての題材で児童の興味関心や家庭環境に配慮した具体的な活動内容が示されています。

その中で課題を発見し、解決の見通しを持って学ぶことができるように配慮されているという点。

2点目は、5年生から家庭科の学習がスタートするわけですが、児童が非常に意欲を持って家庭科学習に入ります。

その意欲を非常に大切にし、子どものやりたい、知りたいといった知的好奇心を大切に内容からスタートしています。

その意欲に支えられながらできるようになったことを実感し、学習を進めていくことができるように工夫されています。

2番の児童の学習活動への配慮のところの(3)番です。

東京書籍の教科書ですが、活動の手順に沿って進めていくことができます。

また、活動例が非常に豊富で、児童の多様な家庭生活の実態や多様な興味関心に対応して進めていくことが可能です。

成功例の写真もしっかり載っているわけですが、そこにチェックポイントがあります。

また失敗例の資料もあることから、自分の力で学習を進めていくことが可能です。

(4)番、衛生面安全面に関する特集ページが含まれています。

いつでもそのページを見れば安全面ですとか衛生面を振り返ることができます。資料としても非常に有効であると思います。

(5)番のところでは用いられている写真や資料ですけれども、現在の児童の生活に即しています。

I Hの調理器具を使っている家庭が多くなっています。そういったI Hの調理器具を使う場合も安全ですということが詳しく載っています。

そういった現在の生活に即した資料が準備されています。

また、指導の方に関しては、(1)番ですけれども動画コンテンツが充実していることが挙げられます。

やや開隆堂に比べて基礎基本が甘いような教科書に感じられますけれども、ログコンテンツを活用することで、基礎基本をしっかりと学ぶことが、児童自身が学んでいくことができるというところがいい点であると思います。

また(4)番ですが、学び方の道筋が示されています。

家庭科の最終的な目標である生活をより良くすることを意識づけることができるという点で、各学年の冬休み前6学年の学習のまとめの時期という家庭生活に実践がされやすい時期に生活を変えるチャンスという単元が位置付けられて、学習を実生活につなげる展開が組みやすいように配慮されています。

同じ点で開隆堂の方の教科書を見ますと、総合所見としては、調理製作実習などの手順がわかりやすく、非常に示されています。

また手順に応じた写真や流れの示し方など、デザインが統一されていて非常に見やすい教科書であるということもあります。

2点目としては基礎的、基本的な知識及び技能を確実に身につけるということに

重点を置いた学習が、非常に開隆堂は展開されやすく、しやすいという点が良いかと思われま

す。児童への学習活動の配慮は東京書籍と大きく変わりません。

学習指導への配慮については、先ほど実践の方に結びつける関係配列の位置が、5年生と6年生の間に生活の課題と実践というページが配置されていますが、これも指導者の工夫によってできるかなと思います。

一番大きな点としては、先ほど最初に申しましたけれども、東京書籍の教科書は基礎基本の部分をQRコンテンツであるとか、動画などを使いながらしっかり学べると同時に、家庭実践、自分の家庭と結びつけて学習を進めるという点において、指導的な役割を果たすといった点で非常に今回の学習指導要領とこれから活用していく力をつける点で適切であると判断しました。

以上、家庭科の調査研究会としては東京書籍の教科書が適当と考えました。

議長 : ありがとうございます。
説明に対して質疑がございましたらお願いいたします。(なし)
次にご意見がございましたらお願いいたします。(なし)
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断し家庭科について、最終決定をしたいと思ひます。
家庭科は東京書籍を選定いたしますが、よろしいでしょうか。(異議なし)
ありがとうございます。
全会一致で東京書籍を選定することと決定いたしました。
それでは次に、体育科説明をお願いいたします

体育科研究員長 : 65ページからご覧ください。
体育では東京書籍、大修館、大日本図書、学研、光文、文教社6社について調査研究をさせていただきました。
まず、適当と認められる教科用図書として、東京書籍、大修館、大日本図書を選びました。
この3社についてご説明いたします。
66ページの大修館をご覧ください。
単元の初めに設定されている課題をつかもうと問われている問いでは、日常生活で実際どういう内容を児童にとってわかりやすい文章にすることで、児童が学習する内容を身近な生活の中の課題を自分事として、とらえ易くしているなど工夫がされています。
また体育の窓という項目を設けて、教科で学習した内容との関連を図る内容を掲載し、時間を伴う理解が図られるよう配慮がされています。
そんな特徴が大修館にはございます。
67ページをご覧ください。大日本図書です。
大日本図書については、児童が保健の見方・考え方を働かせながら、主体的に相互に関わり合いながら、活動に取り組めるよう、1時間の中で学ぶ内容や考える内容を把握する箇所が、散りばめられていますし、児童の関心、興味を引く展開になっており、多様な指導方法及び学習形態の工夫がされています。
全体的に落ち着いた配色で、背景が白い部分が数多くありましてバランスがほどよく集中して読むことができる工夫がされています。

2社についてはそのような特徴がございます。
65ページをご覧ください。
東京書籍についてはその2社よりも優れている点がございました。
具体的所見の方で説明いたします。
一番、単元ごとに「気づく、見つける」「調べる、解決する」「深める、伝える」「まとめる、活かす」という4つのステップに分かれていて主体的・対話的に深い学びを実現するために工夫がされております。
2番、分野グラフ写真等が豊富で刺激も少なく落ち着いた工夫がされております。
3番、心の健康やけがの防止といった教材でも工夫がされていまして、特に思考力・判断力・表現力等を養う点に工夫がされています。
4番児童が課題を見つけやすくお互いに深め合うといった学習活動をスムーズに行えるような工夫がされています。
5番各領域の内容がそれぞれ適当な量で配置されていてバランスが取れています。内容的にも、難しすぎず、わかりやすい構成になっていると思いました。
最後6番ですが実生活に基づいた資料が多く使われておりまして、学んだことが活かされる内容となっております。
当メンバーでは適当と認められる教科書として、東京書籍を推薦いたします。以上です。

- 議長：ありがとうございます。
説明に対して質疑がございましたらお願いいたします。（なし）
次にご意見がございましたらお願いいたします。（なし）
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断し体育科について最終決定をしたいと思います。
体育科は東京書籍を選定いたしますが、よろしいでしょうか。（異議なし）
ありがとうございます。
全会一致で東京書籍を選定することに決定いたしました。
次に英語科について説明をお願いいたします。
- 外国語（英語）科
研究員長：外国語、英語の教科書について報告いたします。
71ページからをご覧ください。
まず、本員会で研究させていただいた6社。光村、三省堂、開隆堂、啓林館、教出、東書の教科書すべてが素晴らしいものであったことをご報告いたします。
その上で、今回5名の研究員と検討させていただき、光村、三省堂、開隆堂が適当と認められる教科用図書と考えました。
検討された内容の中心になった考え方3点について報告いたします。
一つ目は、英語の学習が3、4年生から行われるわけですが、その移行がスムーズであるかという点です。
5年生になり急激に内容が増して、児童の外国語離れが起こらないように十分な配慮がなされているか。
聞くこと話すことを中心に、段階的に難易度がある作りになっているかどうか。
学習者、指導者にとって無理のない学習の構成がされているかを検討いたしました。
二つ目は、主体性への配慮と自己評価、他者評価への配慮です。

子どもの発想を活かせるだけの情報が盛り込まれていて、画一的にならないような言語配慮がされているかどうか。
また、毎回授業のまとめ振り替えができて評価しやすいかどうか。
前回の授業を振り返ることが容易であるか等についても協議いたしました。
三つ目はデジタル時代に対応した内容であったかどうかという点です。
個別最適で、主体性を導く作りになっているかどうか。
流れてくる英語の情報量や時間、操作性等がそれぞれ5年生、6年生に適切であるかについての意見交換をいたしました。
さらに具体的に申しますと、教科書によっては最初からある程度の英語の文章が示されており、学習者にとってはやや文字へのハードルを感じるものになりました。
また、多文化共生を意識した内容のものが多いのですが、情報量が多かったために限られた70時間の中で、活用することが難しいと考えるものもありました。
さらにデジタルコンテンツの中には音声情報が多すぎて混乱することが予想されるものや、操作が複雑なものが見られ児童が混乱する可能性があるものもありました。
このようなことから、児童の主体性を持たせられるように工夫しスモールステップで深く学んでいけるよう配慮してある、38光村が適当であると判断いたしました。以上です。

議長：ありがとうございました。
今の説明に対しまして、質疑がありましたらお願いいたします。（なし）
次にご意見がございましたらお願いいたします。（なし）
よろしいでしょうか。
意見が集約されたと判断し英語科について最終決定をしたいと思えます。
英語科は光村を選定いたしますが、よろしいでしょうか。（異議なし）
全会一致で光村を選定することといたしました。
それでは最後に道徳について説明をお願いいたします。

道徳科研究員長：資料の77ページからをご覧ください。
道徳科では6社について、調査研究を行わせていただきました。
このうち光村、東書、教育出版の3社を適当と認める教科用図書として挙げさせていただきます。
特に観点として用いたのは、現行教育指導要領で大事にされている考え、議論する道徳科の授業が具現されているかどうかという点でございます。
また、適当と認められる教科用図書として挙げさせていただいた3社につきましては、例えば77ページ。光村につきましては、具体的所見の2番のところに挙げさせていただいた、家庭との連携マークの位置付けにより、考えたことが生活に根づくよう配慮されており、また6者の中で光村だけ唯一B5変形版ということで、若干小さめの子どもたちの手に持ちやすいようなサイズになっている点。
また巻末に学びの教育シートといったものを用いて児童が年間を通して自分の変化や成長を自覚している様子を把握できるようなものも付けられております。
78ページ東書におきましては、総合所見の2番目UDデジタル教科書体というものが用いられておりまして、弱視等の障がいを持った子どもたちにとっても読み

やすい教科書となっている点。
また、具体的所見の2番の各学年考えるためのツールが端末に用意されていると
いった特徴もございます。

79ページ教出につきましては、具体的な所見3学習指導への配慮のところの一つ
目ですが、本教材が30本、補助教材が5本という構成で全体が構成されておしま
して、補助教材を地域教材や自作教材に変えて扱うような、そういった年間計画
の配慮も提示されている点が特徴として挙げられます。

このようなことを踏まえ、調査研究員会で検討した結果、最も重視すべき考え、
議論する道徳科の授業の具現ということを考えてときに、光村は教材文を考え議
論する道徳科の授業を具現するための材として考えていることが、非常に明確に
表れているというふうに考えました。

1例ですが4年生の教科書には、この3社とも雨のバス停留所という教材が記載
されております。いずれも作者は成田國英さんという方の作によるものです。
しかしながら、東書と教育出版社はこの文末が、「そんなお母さんの横顔見てい
たヨシコは自分がしたことを考え始めました。バスの窓には大粒の雨がしきりに
吹き付けていました。」という文末表現になっているのですが、光村について
は、ここをあえて、「そんなお母さんの横顔見ていたヨシコは自分がしたことを
考え始めました。」というところで切り、バスの窓には大きな雨がしきりに吹き
つけていたというこの部分をあえて削除した形となっております。

こうすることによって、国語の読み取りとは異なり、自分がしたことを考え始め
たというその文末により、子どもたちに自らの行為や思考を深めさせて欲しいと
いうような意図があると充分に感じ取ることができました。こうした点から、調
査研究員会としては、光村図書が最も適当ではないかというふうに考え、推薦さ
せていただく次第でございます。以上です。

議長：ありがとうございました。
ただいまの説明につきまして、質疑がありましたらお願いいたします。（なし）
次にご意見がございましたらお願いいたします。

協議会委員：採択に関わる意見ではないですが、ちょっと思ったことを話します。
実は道徳の教科書というものができて、その後、道徳の教科書を初めて見たんで
す。
驚きと戸惑いといろいろあります。
どの教科書も多分共通していると思われるのが、道徳の時間ってどういう時間な
のかということ子どもたちに、きちっと理解させてスタートしよう、こんなふ
うに学んでいく時間にしましょうっていうことから、教科書がスタートしていま
す。
35時間分並んでいて、読み物資料の場合には、2つくらいの問いがあって、考え
ましょう、話し合いましょう、そして広げよう、つなげようがあって最後のまと
めましょう振り返りましょう。
こういう流れがそれぞれの題材の所で含まれていて、とても丁寧だと感じた。
読み物資料が1つ与えられていて、そこからスタートした授業とはもう次元が異
なるということを強く感じました。
これは先生方にとっては、進めやすいのか、そんなに苦労しなくても済むのかな

と思われました。

新しい学習指導要領にある、主体的・対話的で深い学びってところや考え、議論する道徳の授業ということを常に念頭において、この教科書を調べられたってということに大変感銘を受けて聞いていました。

しかし、こういう教科書が登場してしまうと、今まで以上に先生方の指導力が求められます。

問いで流れを示したところで、どうやってこの題材の核心に迫って子どもたち一人ひとりの中に道徳的な価値や生きる意味や希望や、その後深めていくってところは、先生方にとっては益々、大変なことになると思います。

ですから、考え議論する道徳の授業ってというお話の中に、たくさんの期待を込めています。

全ての先生方が道徳の授業をするでしょうけども、そういうことを大事にしていて欲しいなという願いを込めています。以上です。

議長：ありがとうございます。

他にご意見ございましたらお願いいたします。（なし）

意見が集約されたら判断し道徳科について最終決定をしたいと思えます。

道徳科は光村を選定いたしますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

ありがとうございます。

全会一致で光村を選定することといたします。

以上により予定した小学校の全教科について協議会としての判断をすることができました。

報告いただきました調査研究委員会の先生方、慎重にご判断いただきました協議会委員の皆様、本当にありがとうございます。

（２）市町村教育委員会における採択報告及び情報公開について

議長：括弧2市町村教育委員会における採択報告及び情報公開について、事務局の説明を求めます。

事務局：それでは、採択と採択結果報告について確認をさせていただきます。

本日の資料の1番最後、85ページから87ページは、協議会規約でございます。

規約第11条で、協議会の会長は教科用図書を選定した時は、採択地区の市町村教育委員会に対して制定した教科用図書の種類及び当該教科用図書を選定した理由を報告すると定めております。

この報告については特段文書をもって行いませんので、本日の協議会の選定結果を持ち帰り、規約第12条の市町村教育委員会の行う教科用図書の採択の規定により、各市町村教育委員会において、8月10日木曜日までに、採択を行っていただき、資料の81ページから82ページの報告書により、同日8月10日までに協議会事務局であります岡谷市教育委員会へ報告をお願いいたします。

また、採択結果が決定次第、事務局職員の皆様には、お手数ですが83ページの通り、メールにて速報を入れていただくことになっておりますので、対応をお願いいたします。

次に、84ページの議事録及び資料の公表についてであります。規約第13条に基

づき、公表につきましては、協議会事務局の岡谷市教育委員会が、全市町村から報告を受け、採択事務の完了を確認でき次第、各市町村に連絡をさせていただきます。

各市町村による採択結果の公表は、それ以降、各市町村のご判断により行っていただきます。

また、協議会、研究会の開催経過、資料等、協議会としての公表は、協議会事務局であります岡谷市教育委員会が一括して行い、議事録も含め、岡谷市教育委員会のホームページから公表させていただきます。

なお、静ひつな採択環境を確保するために、協議会長を除く採択研究協議会の構成員及び調査研究会の研究員の名簿につきましては、公表せず、議事録においても、発言者の氏名は記載しないこととします。

各市町村で公表を行う際であります、協議会に関することは、岡谷市教育委員会のホームページで公表されていることを表記するか、各市町村の公表サイトにリンクを設定していただくなど、対応をお願いいたします。

最後に公表の時期であります、議事録の作成、確認作業等の期間や、県下の各採択地区の状況等を考慮し、採択期限である8月31日以降とし、9月1日を予定して、準備していきたいと考えております。

私からの説明は以上であります。

公表につきまして、ご協議をお願いいたします。

- 議長：協議会規約第11条から第13条に規定されています。
選定した教科用図書の報告第11条及び市町村教育委員会の行う教科用図書の採択第12条並びに、議事録及び資料の公表第13条それぞれについて説明させていただきました。
協議会調査研究会に関する部分の公表につきましては、議事録も合わせて、9月1日に岡谷市のホームページでの公表を予定しております。
ここまでの説明につきまして、何か質問等はございますでしょうか。（なし）
それでは最後に（3）その他として何かありますか。（なし）
それでは、以上で議事は終了とさせていただきます。
本日、教科書の選定に関わり、慎重かつ誠実に議論いただき、円滑に会議が進行できましたことに心より感謝申し上げます。
今後、各市町村において本日の結果を踏まえ、先ほど事務局から説明のあった日程により、採択事務を進めていただきますようお願いいたします。
本日は本当にありがとうございました。進行をお返しいたします。

- 事務局：ありがとうございました。それでは以上をもちまして、諏訪地区教科用図書採択研究協議会、並びに諏訪地区教科用図書調査研究会合同会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。